

項目	内容
名称	サビナ、ユニペルス・サビナ [英]Savin Tops、Chaparra、Coronas de Sabino、Sabina、Sabina Chaparra [学名]Juniperus sabina、Sabina vulgaris Antoine
概要	サビナは、ヨーロッパ、アジア、ロシアなどに分布するヒノキ科の樹木。高さ4~5 m程度に生長する。主に枝および葉が用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 枝葉、球果：「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ 揮発性油（酢酸サビニル (sabinyl acetate)、サビネン (sabinene)) (101) (102)、リグナン類（ツヨン (thujone)、ポドフィロトキシシ (podophyllotoxin)) (101)、ヒドロキシクマリン類 (101) などを含む。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地上部に含まれるジテルペノイド類をNMRにて同定した報告がある (PMID:22223388)。
有効性	
ヒ 循環器・ ト 呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。

での評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について) (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (101)PDR for Herbal Medicines Fourth Edition,Thomson. (PMID:22223388) Chem Pharm Bull (Tokyo). 2012;60(1):154-9. (102) Herb Contraindications and Drug Interactions 2nd.ed	